

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護ロボット等導入支援事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	菊池 義博				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内の介護施設または、介護サービス事業所	意図	介護者の精神的・肉体的負担軽減を図るため、介護ロボットの導入を支援する。
事業内容	市内の介護施設または、介護サービス事業所において、介護従事者の負担や業務の効率化のために介護ロボットを導入する場合に、その費用の全部または一部を補助するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	補助対象事業者 全8事業所			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	補助対象事業所数			8	件	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
介護ロボットを導入した8事業所に対して補助金を交付した。（補助金額1事業所あたり最大927,000円）

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			7,922,500
事業費(b)(円)			7,236,000
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)			686,500
人役・職員(人)			0.10
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	【新規事務事業により記載なし】	③取組の課題	介護ロボットを導入することによって、負担軽減につながるものと把握しておりより拡充すべきであるが、単年度のみでの事業ということで普及効果がどの程度あったのかが不明
②今年度(H28)に実施した取組	【新規事務事業により記載なし】	④今後の改善計画	補助金の交付自体は平成28年度単年度で終了となるが、ロボット導入の効果・課題については引き続き報告を求め検証を続けていく必要がある。